

# 緑化だより

No.83 平成 25 年 5 月号



ジャケツイバラ 平成 24 年 5 月 20 日撮影

- きのこの香り(2)
- 野鳥の世界(ウ ソ)
- 5 月の花
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

5 月の休園日はありません。



**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

## きのこの香り

### (2) コウジタケ(麴 茸)

4月から、特徴のある香りを持ったきのこをとりあげています。

2回目は、甘い香りがする(麴のような香り)コウジタケです。

コウジタケは夏～秋、広葉樹林に発生しますが、時に花壇や芝生などに発生します。

傘の直径は4～7cm、表面は赤褐色から紅色でやや目立ちます。そしてしばしば細かくひび割れます。傘の裏はひだではなく細かい穴がたくさん開いている管孔状で黄色ですが、触れたり傷がつくと青色に変化します。柄は黄色の地に赤色の繊維状の条線があり時に全面が濃赤色になるものもあります。傷つけると青色に変色するので気持ち悪いかもわかりませんが食用になるきのこです。傘の肉質はやわらかく舌触りがよいです。

傘が赤く傘の裏が管孔状になっているコウジタケに似たきのこはいくつかありますが、麴のような甘い香りがすることが決め手になります。ただ、きのこが新鮮でなくなるにつれて香りはなくなっていくので注意が必要です。(川上)



コウジタケ

## 野鳥の世界

### ウソ

“ウソ”は、名前としては聞きなれない響きの野鳥です。その姿も見かける機会が少なく珍しい野鳥といえるでしょう。

繁殖は北方で、サハリンからアムール川などシベリヤ地方が主で、厳冬を避けて冬鳥として渡来します。緑化センターへは、立春の頃からサクラの花芽がふくらむ頃渡ってくるのですが、その数は減少しています。

今年も立春が過ぎ、日差しが明るくなってきた頃から、その姿を見せ始め独特の鳴き声が聞かれるようになりました。「ヒィ・フィ」と区切って鳴き、口笛で真似をすると返事が返ってくる事があります。

サクラの花芽が好物で、やっとふくらみ始めた花芽の皮をクチバシでつついて中の蕾を食べます。ウソの大群が飛来すると、花火などで追い払うこともありますが、近年では個体数も減少し、貴重な種になりました。

福岡県太宰府では、木製のウソを交換しあう神事が有名です。

これまでの悪い事をうそにして、今年の吉に変えるという意味があります。(吉見)



ウソ

## 5月の花

えっ！これがサクラ？初めて見る人は怪訝な顔をされます。白い穂状で小粒の花をびっしりつけて開くウワミズザクラは、薬草園の横の谷で咲きます。

標高 300~500m の中国山地でもよく見かけます。ウワミズザクラだけでなく、バラ科サクラ属の仲間も多く、その一つズミは藤が丸登山口で開花します。花梨酒でおなじみのカリンは、学習室裏のり面で薄紅の花をつけています。

珍しいものでは、本館近くにオオギリ科のハンカチノキが満開です。装飾花である苞を白いハンカチに見立ててつけた名です。

モクレン科ではホオノキ、ユリノキ、タイサンボクなどが白い花を付けます。出会いの広場からレストハウス方面にかけて華やかです。

ハナミズキに近縁のミズキ科のヤマボウシが少し遅れて咲き始めます。

実をさらして食用にするトチノキ科のトチノキも枝先に小さな白い花をびっしりと付けます。

カエデ科の仲間も開花します。花が小さなため目立ちませんが、カエデ科のオオモミジ、イロハモミジ、メグスリノキなどよく観察すると興味深いものです。カエデ類は本館前から苗畑にかけてと県木の森、樹木展示園で見られます。

ネットで保護されたエヒメアヤメ(タレユエソウ)が本館横に咲いています。

名前や姿から気味悪がる人もいますが、よく眺めると可憐なサトイモ科のmamugusaやその仲間は少し薄暗い所に咲きます。コンニャクも近縁で食用にされますが、サトイモ科の仲間には有毒のものが多く、注意が必要です。

物騒なジゴクノカマノフタの名を持つシソ科のキラソウ、リンドウ科のフデリンドウ、スマレ科のスマレ、タチツボスマレなど、足元には種類は少ないものの季節のメッセージが発信されています。(正本)



ウワミズザクラ



ハンカチノキ



ホオノキ



フデリンドウ

## 研修会のご案内

- 5月1日(水) 『5月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合  
新緑の野山を歩いてみましょう  
講師:環境省希少野生動植物種保存推進員 吉野 由紀夫
- 5月8日(水) 『春のガーデニング』 10:00～12:00 学習室 集合  
春の寄植えを楽しみましょう  
講師:緑化センター職員 山根 道広  
※ 要予約・材料費 1,500 円、先着 25 名
- 5月10日(金) 『緑のカーテン事例紹介と実践教室』 10:00～12:00 学習室 集合  
緑のカーテンを学び快適な夏を過しましょう  
講師:環境カウンセラー 正本 大  
※ 要予約・無料
- 5月12日(日) 『春のバードウォッチング』 9:00～12:00 管理事務所前集合  
夏鳥の活動の様子を観察します  
講師:日本鳥類保護連盟会員 吉見 良一  
※ 双眼鏡持参
- 5月15日(水) 『コケの観察会』 10:00～12:00 学習室 集合  
こけにしないコケの話と実地観察  
講師:広島大学名誉教授 関 太郎  
※ ルーペ持参
- 5月18日(土) 『新緑の立石山を歩こう』 10:00～12:00 管理事務所前集合  
新緑の樹木を観察しながら  
講師:環境カウンセラー  
標高 500mの立石山に登ります  
自然観察指導員 和田 秀次  
※ 要予約・弁当持参
- 5月21日(火) 『初歩のデジカメ教室』 10:00～12:00 学習室 集合  
撮影の基本を学びます  
講師:写真家 大藤 哲己
- 5月25日(土) 『庭木の病虫害教室』 10:00～12:00 学習室 集合  
薬剤だけでない防除について  
講師:緑化センター職員 正本 良忠

### ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

**第12回ひろしま「山の日」県民の集い** 6月2日(日) 10:00～15:00

レストハウス周辺及び園内で、記念植樹などイベントを行います。

- **特別研修会** 6月23日(日) 10:00～12:00 学習室 集合

**『第五の季節「梅雨」と上手につきあいましょう』**

気象キャスターによるお天気のお話・放送の裏話 講師:NHK 気象キャスター 太田 景子

### ◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

(ガラスケース)

#### 七宝焼同好会作品展

4月25日(木)～5月27日(月)

(ボード展示)

#### 緑化センターでこれから楽しめる花写真展

5月1日(水)～6月5日(水)

表紙: ジャケツイバラ(蛇結炭)

“かはらふじ”の名で万葉集にも見られ、種は下痢止めなど薬用にされる。